

# 地域おこし協力隊 通信 VOL.65

お問い合わせ先：

(観光振興) 企画政策課 企画政策グループ  
電話 5-1114 告知端末機 5-8814

(集落支援) 地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」  
電話・告知端末機：9-7367

## 観光振興担当 吉原ゆりか隊員



こんにちは、令和元年11月号ぶりの投稿となります、地域おこし協力隊員の吉原ゆりかです。

産休と育休をいただき、今年3月に復帰しました。その間、小さな子どもを連れて歩くことで新しい視点で幌延町を見ることができました。今回はその一端を紹介したいと思います。

お散歩デビューは、家から歩いて行ける名林公園でした。緑が青々とした時期で、木漏れ日の中、たくさんの野鳥をゆっくりと見ながら散策路を歩きました。お花が咲き始めたり、時にはアライグマの親子に出会ったりと、行くたびに変わる景色がとても楽しかったです。綺麗な空気を吸い、とても良いリフレッシュになりました。天気の良い日にはビジターセンターの木道やパンケ沼の木道（今は撤去されています）まで足を延ばしてお花を見たり、筋トレ代わりに名山台展望台に行ったりと、豊かな自然の中、子どもとの時間を過ごすことができました。

小さな子どもを持つママにとって気分転換ができる時間はとても大切です。ママの視点で幌延町の情報パンフレットを作る予定ですので、幌延に住むママがより快適に楽しく過ごせる手助けをできればと思っています。

いよいよ外で活動するには心地よい季節になってきました。近いうちに屋外での町民の方向けのイベント開催を考えています。新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか町の外に行きにくい状況ではありますが、町内で楽しい時間を過ごしていただきたいと思っています。詳細は告知端末機などでお知らせいたしますので、ぜひ皆さんお越しください。



育休期間中に立ち寄ったパンケ沼木道にて

## 集落支援担当 讃井孝廣隊員



こんにちは、協力隊員の讃井です。突然ですが、問寒別の地域おこし協力隊事務所の愛称をご存じですか？問寒別地区の住民の皆さんに公募をして、「ほっと」という愛称になりました。「ほっと」の意味は、地域おこし協力隊員が住民の困りごとを解決して「ほっと」したり、事務所が憩いの場として「ほっと」できたり、夢が語れる「ホット」な場所であったり、いろんな「ほっと」がある場所であるようにという思いが込められています。

そんな「ほっと」の愛称を使った地域おこし協力隊事務所の看板が3月末についに完成しました。問寒別の元家具職人さんにご指導をいただきながら、隊員同士が協力して幌延町産のミズナラ材を使い作成しました。ミズナラは重厚感のある立派な木材で、我ながら立派な看板に仕上がったと自画自賛しています。

愛称である「ほっと」の思いをかなえられるよう、地域おこし協力隊員一同頑張っていきたいと思っています。問寒別地区の新たな顔として完成した看板を見に、足を運んでいただければ幸いです。



完成した地域おこし協力隊問寒別事務所「ほっと」の看板